

第1回委員会資料

公立豊岡病院組合と日高医療センターの現状

および

これからの医療制度・将来人口・需給バランスの確認

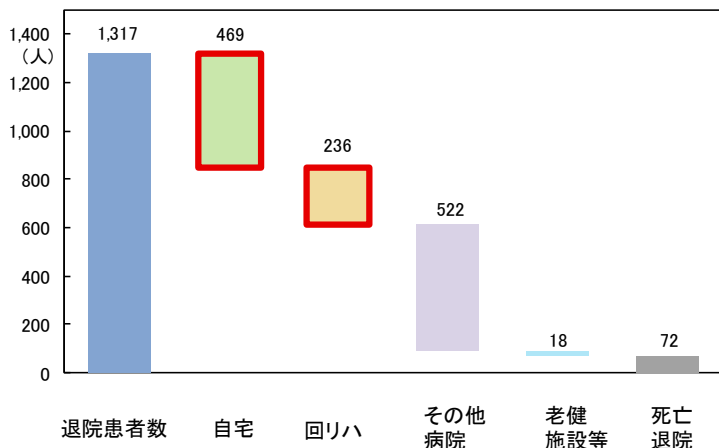
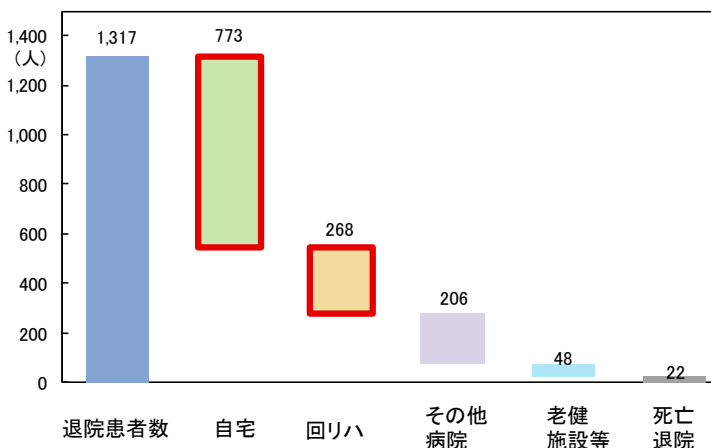
訂正による差し替え
のお願い

⑤回復期リハビリテーション病棟の将来推計【運動器】（2025年）

2025年の但馬医療圏における大腿骨、脊椎、膝・股関節骨折等骨折の推計退院患者数は1,317人。回復期リハビリテーション病棟への転院率が約20%の場合は268人同じく約18%の場合は236人が入院する。この数値から試算される回復期リハビリテーション病棟の必要病床数は39～44床となる。

回復期リハビリ病棟へ20.3%が転院

回復期リハビリ病棟へ17.9%が転院



誤

■回復期リハ病棟の必要量■(2025年)

		備考
A	入院患者数	202人
B	平均在院日数	89.4日 統計値
C=A*B	延べ患者数	18,082人
D=C÷365日	1日当り患者数	50人
E=D÷95%	必要病床数	52床 95%稼働時

誤

■回復期リハ病棟の必要量■(2025年)

		備考
A	入院患者数	184人
B	平均在院日数	89.4日 統計値
C=A*B	延べ患者数	16,436人
D=C÷365日	1日当り患者数	45人
E=D÷95%	必要病床数	47床 95%稼働時

正

■回復期リハ病棟の必要量■(2025年)

		備考
A	入院患者数	268人
B	平均在院日数	56.9日 統計値
C=A*B	延べ患者数	15,242人
D=C÷365日	1日当り患者数	42人
E=D÷95%	必要病床	44床 95%稼働時

正

■回復期リハ病棟の必要量■(2025年)

		備考
A	入院患者数	236人
B	平均在院日数	56.9日 統計値
C=A*B	延べ患者数	13,452人
D=C÷365日	1日当り患者数	37人
E=D÷95%	必要病床	39床 95%稼働時

出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」、平成23年患者調査、他病院事例よりMURC作成

これによる、回復期リハビリテーション病棟の病床数推計への影響はありません。

		急性期医療	ポストアキュート	回復期 リハビリテーション病棟	障害者病棟	医療療養病床	日高MCの特定分野			
							人工透析	水晶体再建術	回復期の 通院リハビリテーション	
		本文の数値が正で、総括表に誤りがありました								
推計需要		需要の増減	ほとんどの疾患で減少	2035年にかけて減少	ほぼ一定	減少	2035年にかけて増加	減少	微増ののち減少	脳血管疾患 :微増ののち減少 運動器:減少
推計需要	域内需要 に対する 必要量	2015年	540床(10対1以上) ~435床(DPC)	198~296床	98~110床	204床 (193人/日)	187~496床	409人 (通院372人、入院37人)	1,455件	脳血管疾患:87,415人 運動器:96,502人 (延べ患者数/年)
	2025年	405床 (DPC病床数)	184~276床	99~110床	190床 (181人/日)	204~542床	382人 (通院346人、入院36人)	1,462件	脳血管疾患:88,450人 運動器:96,384人 (延べ患者数/年)	
	2035年	379床 (DPC病床数)	173~259床	98~110床	170床 (162人/日)	205~546床	337人 (通院303人、入院34人)	1,334件	脳血管疾患:87,798人 運動器:95,705人 (延べ患者数/年)	
	試算の前提	・平均在院日数が10日に 短縮した場合 ・病床稼働率90%の場合	総入院期間20日の場合 病床稼働率95%の場合	—	病床稼働率95%の場合	医療区分2・3または 区分3のみを対象として	—	—	院内に回リハ病棟が ある場合	
提供体制	2015年	1,089床	50床	50床	38床	207床	7施設	日高MCの実績 367件 (充足度25%)	4病院	
	社保と税の 一体改革 時点の 2025年モデル	662床 (高度急性期:225床 一般急性期:437床)	325床 (亜急性期・回復期等)		350床 (長期療養)		—	—	—	
	地域医療構想 (案)	674床 (高度急性期:133床 急性期:541床)	476床 (回復期)		250床 (慢性期)					
需給ギャップ	病床数は過剰	域外に依存 または一般病床に入院し ている	域外に依存 または一般病床に入院し ている	域外に依存 または一般病床に入院し ている	域外に依存 または一般病床に入院し ている	域外に依存 または一般病床に入院し ている	—	—	—	
	疾患によっては供給不足 があり、緊急性が高い循環 器などの充実が必要	推計需要は減少するが、 供給が推計需要の半数 以下であるため、域内 での提供が求められる	推計需要はほぼ一定だ が、供給量が推計需要の 半数程度であるため、域 内での提供が求められる	・推計需要は減少する が、供給量が推計需要の 半数以下であるため、域 内での提供が求められる。 ・人材集積や高度な医学 的管理が必要	・推計需要の増加が見 込まれ、現時点の供給量は 推計需要とほぼ均衡 ・今後、一般病床からの 転換が進んで、供給量が 増加すると見込まれる	・患者数に応じて提供体 制を整える必要がある	・将来の推計需要は減少 するが、日高MCで充足 度が25%程度ある ・域内需要を充足させる 必要性がある	患者数に応じて提供体制 を整える必要がある		